

目 次

『立法学のフロンティア』刊行にあたって i

序——立法学における〈立法の哲学〉の基底的位置	井上達夫 3
----------------------------------	--------

第 I 部 立法学の法哲学的基盤構築

第 1 章 立法理学としての立法学 現代民主政における立法システム再編と法哲学の再定位	井上達夫 23
第 2 章 規範的法実証主義の立法理論.....	横濱竜也 55
第 3 章 功利主義者の立法理論.....	安藤 馨 76
第 4 章 フェミニズム法理論における立法の復権	池田弘乃 103

第 II 部 立法の政治哲学と経済理論

第 5 章 政治的公共圏から見る立法 法の「作者」と「編者」.....	齋藤純一 129
--	----------

第6章 可謬主義と熟成主義の立法過程論……………橋本 努 150

第7章 ハイエク立法理論の再検討

立法過程の政治哲学としての可能性……………井上 彰 169

第8章 公共選択論と立法……………鳥澤 円 192

第Ⅲ部 立法学の思想史的再考

第9章 フランス政治思想史から見た立法の意義

……………宇野重規 219

第10章 法典論争から市民的公共圏へ

立法と教養……………吉永 圭 241

第11章 ミル・代議制・中国……………谷口功一 263

第12章 福澤諭吉の立法者像

帝国議会と統治の徳義……………桂木隆夫 285

人名索引 309

事項索引 312